

## ホームステイで充実した研修

7月20日から8月5日までの17日間、TOMODACHIサマー2014コカ・コーラホームステイ研修プログラム（TOMODACHIイニシアチブ主催）に岩手、宮城、福島の被災3県からそれぞれ20人の高校生が参加。本町からは藤森明美さん（葛巻高2年）が参加し、アメリカジョージア州でのホームステイや大学訪問、ボランティア活動など、さまざまな活動を体験しました。研修の感想を寄せていただきましたので紹介します。

【TOMODACHIイニシアチブ】東日本大震災後の日本の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップなどのプログラムを通して、日米の次世代のリーダーに投資する官民パートナーシップ。コカ・コーラ復興支援基金がこの趣旨に賛同し、本研修プログラムを提供している。



ありのままの  
 アメリカ生活を体感し  
 視野と世界観が広がりました

葛巻高2年 藤森 明美さん

- ④ホストファミリーと一緒に（左が明美さん）
- ⑤アトランタ市にあるコカ・コーラ博物館を見学
- ⑥ホストファミリーのディナさん（17歳）に浴衣をプレゼント。お返しに似顔絵を描いてもらいました



この研修プログラムで一番印象的だったことは、ホームステイで過ごした時間です。私はジョージア州アセンズのマディソン地区に住んでいる4人家族の家庭に、久慈工業高校から参加した女子生徒と2人でホームステイをしました。現地の家庭に滞在することで、旅行では決して味わうことのできないありのままのアメリカ生活を体感できたことが何よりもうれしかったです。また、ホストファミリーと日本とアメリカの文化の違いや流行などの話題でさまざまな会話をしたり、たくさんの観光地

に連れて行っていただいたりと、充実したホームステイを送ることができ、とても良い経験ができました。今回の研修を終えて、自分の視野や世界観が広がったような気がします。国境を越えた繋がりを持たれたことが私にとって大きな財産になり、また自信になりました。将来に向けて貴重な経験ができたこと、今回の研修に参加するにあたり、支えてくれた友達や先生方に感謝します。今後も交流を重ね、ホストファミリーや出会った仲間いつか再会したいと考えています。



代打で途中出場。見事にセンター前にヒットを放ち、打点1を記録。その後相手エラーが重なり6点目のホームを踏みました。健闘及ばず6対8で初戦敗退となりましたが、最後まで諦めない選手たちのひたむきな姿に惜しめない声援が送られました。一葉さんは「すごく緊張したけど無心でバットを振り抜き、ヒットになってうれしかった。試合は負けたけど、野球仲間と深い絆ができました」と笑顔で話しました。

### 小学生女子野球の県選抜メンバーに選出された 惠津森さん(5小6年)全国大会出場

#### NPBガールズトーナメント2014

五日市メッツスポーツ少年団（惠津森監督、団員20人）に所属する惠津森一葉さん（五日市小6年）が、小学生女子野球の県選抜チーム「イーハトーブ岩手 GIRLS」に選ばれました。一葉さんは小学3年から野球を始め、メッツの監督を務める父親の哲雄さんの指導の下、持ち前の運動神経を生かし、めきめきと上達してきました。8月11日から16日までの6日間、NPBガールズトーナメント2014（日本野球機構など主催）が東京都で行われ、イーハトーブ岩手を含む全国から36チームが出場しました。岩手の初戦の相手は昨年ベスト4の栃木スーパースターズ。一葉さんは4対8の4点ビハインドの7回表2アウトランナー2塁の場面で

### 1年間で約1万5千人が来店

## くずまきジェラート クローバー畑

### オープン1周年感謝祭

くずまきジェラート・クローバー畑の開業1周年感謝祭は8月22日から24日までの3日間、同店で開催されました。期間中は、通常2500円のシングルサイズを1500円で販売。町内外から3日間で554人が



④期間中、多くの来客でにぎわった店内 ⑤開業1周年を迎え笑顔のくずまき乳製品加工研究会のメンバー

来店し、葛巻の魅力がたっぷり詰まった作りたてジェラートを堪能しました。2日連続で来店したという田の沢の林岩美さん（71）、スミさん（69）夫婦は「1回は必ず来ます。飽きの来ない爽やかな味わいで食べやすいですね」と笑顔を見せました。同店は昨年8月23日にオープン。1年間で来店者数が1万4700人に達し、早くも町の人気スポットになっています。同店を運営するくずまき乳製品加工研究会の中村和子会長は「お客さんのおいしいの一言がうれしくて力になりました。これからも町内産の果実や野菜を取り入れながら葛巻ならではのジェラート作りに励んでいきたい」と気持ちを新たにしました。

町商工会青年部（遠藤孝則部長、部員24人）主催の「くずまき夏まつり」は8月16日、葛巻小学校グラウンドで行われ、帰省中の家族連れなど約3600人が葛巻の夏を楽しみました。会場にはたくさんの屋台が出店し、ステージでは葛巻保育園児による演技やマジックショーが行われました。また、江刈小学校の児童4、6年生7人が焼き鳥販売や金魚すくいの接客を行う「学びレッジ」の屋台が設けられ、子どもたちは元気いっぱいに販売体験に励みました。焼き鳥を担当した松山由依さん（6年）は「煙が大変だったけ



## くずまき夏まつり

約3600人の人出でにぎわう

ど頑張りました。接客や会計がきちんとできてうれしかったです」と笑顔を見せました。盆踊り大会では会場いっぱいに勇壮な太鼓が鳴り響き、大勢の人が心地よい汗をかきながら踊りの輪に入っていました。フィナーレはメインの花火大会。約1000発の花火が打ち上げられ、大輪の花が夏の夜空を鮮やかに彩り、大きな拍手と歓声が沸き上がりました。同まつりは、町内190の事業所などから協賛金をいただき、町消防団や交通指導隊、防犯指導隊をはじめ多くの皆さんの協力により開催されています。

